ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科　講師 末　岡　尚　文　（すえおか　なおふみ） SUEOKA Naofumi
所属	保　育　科
学位	修士（教育学）（東京大学）
資格・免許	－
学歴・職歴	＜学歴＞ 2017 年　３月　東京大学教育学部基礎教育学コース 卒業　（学士（教育学）） 2019 年　３月　東京大学大学院教育学研究科基礎教育学コース修士課程 修了　（修士（教育学）） 2024 年　３月　東京大学大学院教育学研究科基礎教育学コース博士課程 単位取得後退学 ＜職歴＞ 2020 年　４月　日本学術振興会　特別研究員（DC2）（2022 年３月まで） 2022 年　４月　日本児童教育専門学校　兼任講師（2023 年３月まで） （担当科目：教育原理） 2022 年　５月　東京大学大学院教育学研究科　特任研究員（2023 年３月まで） 2022 年 10 月　横浜保育福祉専門学校　兼任講師（2023 年３月まで） （担当科目：道徳教育） 2023 年　４月　山梨学院短期大学保育科　専任講師（現在に至る）
担当科目	保育原理　保育職論　教育課程論　インクルーシブ保育Ⅱ 保育実習指導Ⅱ　保育実習Ⅱ（保育所） 幼稚園教育実習指導（２年）　幼稚園教育実習Ⅱ 基礎演習　卒業演習Ⅰ　卒業演習Ⅱ 保育学特論(専攻科)　現場研修Ⅰ(専攻科)　修了研究（専攻科・補助教員）
専門分野	教育学
現在の研究テーマ	教育史、教育実践、子どもの権利
競争的資金等の研究課題	－
所属学会	日本教育学会　障害学会　日本学校教育学会
メッセージ	日々の生活を通じて成長するのは、子どもも大人も同じです。短大には様々な知識や価値観、経験を持った人が集まっています。ぜひ、多くの人と交流し、沢山のことを学び、自らの考えを深め、興味のあることにはどんどん挑戦してみてください。

<table>
<tr><td colspan="3">教育</td></tr>
<tr><td colspan="3">2024 年４月～2025 年３月</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育方針</td><td>教科書等の知識を身に付けるだけではなく、それらをもとに自分自身の理論を構築し実践する力を持った保育士・教員を養成する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">授業</td><td>授業の工夫</td><td>＜保育原理＞
「保育」に関する基礎的な知識の獲得に加え、それらが実際の保育実践や社会全体においていかなる意義や関わりを持っているのかを把握するために、関連する保育実践やニュース等の映像などを積極的に活用し、授業の内容を多面的に把握・考察できるように努めている。

＜保育職論＞
「保育職」の意義や役割を多面的に捉え、授業を通じて自分なりの保育者像を構築していくことを目指して、学校や施設などの取り組みを題材に、グループでの話し合いやコメントシートの活用を通じた意見交換を行い、学生が相互に学び合う時間を設けている。

＜教育課程論＞
教育課程の変遷の検討を通じて、教育の目的・内容・方法などがどのように変化していったかを検討するとともに、文献記録や映像記録等を活用して具体的な教育実践の様子を観察することで、教育現場における教師の役割や授業の展開のあり様などを考察している。

＜保育学特論＞
保育科で学んだ知識を基盤に、グループディスカッションや全体での意見交換を行うことで、保育を取り巻く社会的な問題に対して多面的に考察を行い、相互に学び合う機会を提供している。</td></tr>
<tr><td>授業改善のための取組</td><td>保育・教育を取り巻く社会的状況や政治的背景などを把握し、授業内容に積極的に還元できるよう、新聞や雑誌等に加え、所属学会や関係団体等からの情報収集を積極的に行っている。</td></tr>
</table>

教育（つづき）		
2024年4月～2025年3月（つづき）		
ゼミ	ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）	＜卒業演習Ⅰ＞ 中野円佳『教育にひそむジェンダー』（筑摩書房、2024年）など、近年の教育・保育に関する文献の記述をゼミ全体で確認することを通じて、学生がそれぞれの興味・関心に向き合いながら考えを深めるとともに、資料収集の方法や執筆時の注意点等を共有することで、卒業レポート執筆に向けての基盤づくりを行った。 ＜卒業演習Ⅱ＞ 前期はそれぞれの学生が図書館等で文献を調査した結果を発表したほか、『夜間もやってる保育園』等の映像作品の視聴を通じて、卒業レポートのテーマにつながる問題関心を深める作業を行った。後期には各自の作業の進捗報告やゼミ参加者での集団討議等、学生同士が相互に協力し合いながら、より完成度の高いレポートの完成に向けた作業を行った。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	・障害児教育－障害のある児童の就学先の特徴について－ ・障害児保育―理解と支援― ・インクルーシブ保育が与える子どもたちへの影響 ・日本と世界の保育に関する研究 ―スウェーデン・フランスの保育制度・法律に焦点を当てて― ・不登校の要因と支援についての考察―心理的側面に焦点を当てて― ・児童の虐待について ・早期教育について ・早期教育が子どもに与える影響 ・インクルーシブ教育において学校教員が持つべき姿勢やかかわり方 ―各学校・学級ごとの支援方法の特徴を踏まえて― ・なぜ、スポーツにおいて、指導者からの体罰があるのか ・ジェンダーと保育について ―ジェンダーと保育の関係性とジェンダーフリー保育について―
課外活動	バレーボール部　顧問	
2024年3月以前		
主な教育業績	―	

研究		
2024年4月～2025年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著　書） 日本の海洋教育の原点－道徳編－ （共著）	2025年　3月	東信堂 担当部分：第2章「中学校道徳教科化以前の東京書籍副読本における海洋教育教材の位置づけ」（pp. 57-87）
（その他：報告） 障害児の普通学校就学運動における子どもの権利と親の立場―「障害者の教育権を実現する会」の運動に焦点を当てて― （単独）	2024年　8月	日本教育学会　第83回大会 （オンライン開催）
2024年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著　書） 教師と学生が知っておくべき教育原理 （共著）	2024年　3月	北樹出版 担当部分：第14章「現代社会と教育の課題2：情報化・グローバル化する社会と教育の変化」（pp. 119-126） 第15章「現代社会と教育の課題3：マイノリティの権利保障と学校・社会の問い直し」（pp. 127-135）
（著　書） 障害児の共生教育運動－養護学校義務化反対をめぐる教育思想－ （共著）	2019年11月	東京大学出版会 担当部分：第7章「『ぼくはにんげんだ』－金井康治の就学闘争二〇〇〇日－」 （pp. 137-158）
（学術論文）（査読付） 障害児の普通学校就学運動を通じた「共に生きる」教育課程の構成要素と課題－城台美弥子の教育実践の記録に焦点を当てて－ （単著）	2024年　3月	山梨学院短期大学研究紀要　第44巻（pp. 55-63）山梨学院短期大学

研究（つづき）		
2024 年３月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文）（査読付） 障害児の普通学校就学運動における子どもたちの声の聴き取りの意義－止揚学園の「教育権運動」における障害児・健常児の記録に焦点を当てて－ （単著）＜外部リンクあり＞	2021 年 12 月	教育学研究　第 88 巻第４号 （pp. 104-115）日本教育学会
（学術論文） 障害児の高校進学と「教育を受ける権利」の保障－「浦高問題」における血友病者大西赤人の主張に着目して－ （単著）＜外部リンクあり＞	2021 年　３月	東京大学大学院教育学研究科紀要 第 60 巻（pp. 413-422） 東京大学大学院教育学研究科
（学術論文）（査読付） 普通学校就学運動から見る障害児の意志－金井闘争に焦点を当てて－ （単著）＜外部リンクあり＞	2018 年　７月	研究室紀要　第 44 号（pp. 83-94） 東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
（その他：学会発表） 障害当事者運動を通じた戦後学校教育の問い直し－成人障害者の普通学校就学運動に焦点を当てて－ （単独）	2023 年　８月	日本教育学会　第 82 回大会 （オンライン開催）
（その他：研究ノート） 1970 年代における障害児「共生保育」の意義と展開－聖愛園の実践記録に焦点を当てて－ （単独）＜外部リンクあり＞	2023 年　４月	東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター活動報告（pp. 9-19） 東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
（その他：翻訳） インクルージョンの指針－インクルーシブな価値に基づく学校づくりガイド－第４版 （共同）	2022 年　５月	東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
（その他：解説） 気になる！教育関連用語解説　インクルーシブ教育（単独）	2022 年　５月	教職研修　第 597 号（p. 71） 教育開発研究所

研究（つづき）		
2024年３月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：学会発表） 障害児の普通学校就学運動と就学訴訟－「長崎訴訟」を中心に－ （単独）	2021年　８月	日本教育学会　第80回大会 （オンライン開催）
（その他：報告） インクルーシブな学校改革の検討－“Index for Inclusion 4th edition”の「学びと参加に対するバリア」の議論から－ （共同）＜外部リンクあり＞	2020年11月	院生プロジェクトワーキングペーパー（2019年度）（pp. 74-89） 東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
（その他：学会発表） 障害児の普通学校就学と地域で「生きる」ということ－梅谷尚司の就学運動に焦点を当てて－ （単独）	2020年　８月	日本教育学会　第79回大会 （オンライン開催（要旨掲載のみ））
（その他：学会発表） 障害児の高校進学における当事者の意志と直面する困難に関する歴史的考察－「大西赤人君浦高入学不当拒否事件」に焦点を当てて－ （単独）	2019年　８月	日本教育学会　第78回大会 （於：学習院大学）
（その他：学会発表） 障害児にとっての学校の持つ意味－脳性まひの少年金井康治の普通学校就学運動に焦点を当てて－ （単独）	2018年　９月	日本教育学会　第77回大会 （於：宮城教育大学）
社会貢献 産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2023年４月～2024年３月		
・山梨県幼児教育センター「幼稚園・保育所等子育て支援研修会」講師（2023年９月）		
2023年３月以前（主なもの）		
・「港区教育史 見る・知る・伝える ～港区教育アーカイブ～」（東京都港区教育委員会）　監修（共同）		
受賞　※個人、所属団体		
－		